

## ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会・迅速審査・議事要旨

- 1 日 時 平成22年8月23日(月) 17:00～17:20
- 2 場 所 香川大学医学部管理棟3階 旧部長室
- 3 出席者 千田彰一(委員長、副医学部長)、岡部昭延(委員、医学部教授)、  
陪席者 乙武企画調査係員  
欠席者 鈴木康之(委員、医学部教授)

### 4 議 事

始めに、委員長から、本件は『香川大学医学部ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会規程』第5条第2項第3号に該当するため、迅速審査にて審議を行う旨説明があった。

次いで、審査の手順について説明があり審査に入った。

#### 議題1 倫理審査について(1件)

(1) 受付番号 平成22-1

申請者 医学部泌尿器科学  
教授 笥 善行

説明者 泌尿器・副腎・腎移植外科  
准教授 杉元幹史

研究課題名 「進行性腎細胞癌患者に対する分子標的治療の有害事象・有効性と関連する遺伝子多型の探索」

- 提出書類 1 倫理審査申請書  
2 研究計画書  
3 共同研究施設等一覧  
4 患者用説明文書  
5 同意書  
6 審査結果通知書(京都府立医科大学)

研究課題について、申請者から説明があり、委員による質疑応答を行った。

審査の結果、「条件付承認」とした。

#### ◎条件

ア. 説明文書の(15)研究終了後の試料・資料の保存、使用又は廃棄の方法において、血液およびDNA

サンプルは場合によっては保存し、本学の香川大学医学部ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会の承認を受けた上で、新たに計画・実施される遺伝子の解析研究に使用する場合があります、と同意書と統一した内容とすること。

イ．同意書に代諾者署名欄を追加すること。